

<今日の説教のポイント コリントの信徒への手紙Ⅱ 11章1-15節>
宗教は怖い？ 誤った信仰を持ったら。では、そうならないためには？

1 偽使徒(13)の出現。騙されないためにはどうしたらいいのか？

これまで、パウロが伝道したコリントの教会に「偽使徒、ずる賢い働き手」(13)が現れて教会員たちを混乱させるのを見てきました。偽警官、偽医師、偽弁護士、どんな世界でも「偽～」が起こり得ますが、宗教の領域も同じです。しかも精神世界が相手だけに、どれが正しいか判断しにくい分、「欺かれ」(3) (マインドコントロールされ) やすいと言えます。それを防ぐにはどうしたらいいのでしょうか。

2 パウロが目にする3つの間違い。イエス・霊・福音の内容理解。

パウロはここではっきりと彼らの誤りを三つ挙げています。①「私たちが宣べ伝えたのとは異なったイエス」②「自分たちが受けたことのない違った霊」③「受け入れたことのない福音」(4)。ここで「異なった」「違った」と訳されている原語は「もう一つの、別の」という意味の語で、要するに主イエスが示された内容と一致していないことを意味しています。①イエス・キリストは「神ではない」また「人ではない」と主張する、②イエス・キリストの重要性を私たちが理解することから離れた霊を考える、③イエス・キリストの十字架の死によって私たちの罪の赦しは成し遂げられたのに、私たちが良き行為をしなければ救われないと主張する、この三つの種類の「異なった」教えを主張する人物や集団が新約聖書の時代から現代に至るまで現れては消えて行きました。

3 正しい信仰とは？ 聖書の教えを正しく深く理解するためには？

では、正しい教えと異なった教えの違いは何でしょうか。キリスト教の信仰を持つとは、神様がそのために与えて下さった聖書の内容を自分の信仰内容とするということです。その時、本当に深く聖書の神様の大きな愛が分かって来るからです。それは自己流で聖書を読んでもできることではありませんし、誤った導き手に指導を受けたら「異なる」信仰を持ってしまうことになります。教会はそのための努力を二千年間続けて来ましたし、その成果の上に教会を建てようとしている教会は教派の違いを超えて互いに認め合い教え合ってきました。パウロはその基礎作りにあたった人たちの大事な一人なのです。私たちも、これまでの教会が積み上げて来た聖書の真理をよく学ぶ中で聖書の福音を正しく深く伝える教会形成を、これからもさらに皆で続けて行こうではありませんか。